

絶滅危惧種ヒメバイカモ保全活動 の経過(吉賀町)

渡辺・滝口・吉中

- ・今年生育を確認したところ→7カ所
- ・今回の報告に関係したところ
→九郎原、ホームセンター裏、沢田入り口



報告内容

1. 吉賀町九郎原の移植地とその近辺で生育するヒメバイカモのようす
2. ホームセンター裏へのためし植え
3. 今年の予定
4. その他

吉賀町九郎原に移植したヒメバイカモは、ほぼ消滅



4月ころ

ここに少しだけ残っている

春にはあったのに、土砂で完全に埋まってしまったところ



原因



- ・上流には大量の土砂が堆積しており、これが洪水時、流れ下る。
- ・土砂はここよりさらに上流部から供給されている。

再移植

津和野工事事務
所では

「この場所を復旧
工事した後、ヒメバ
イカモ移植場所の
砂利を取り除き、
再移植」

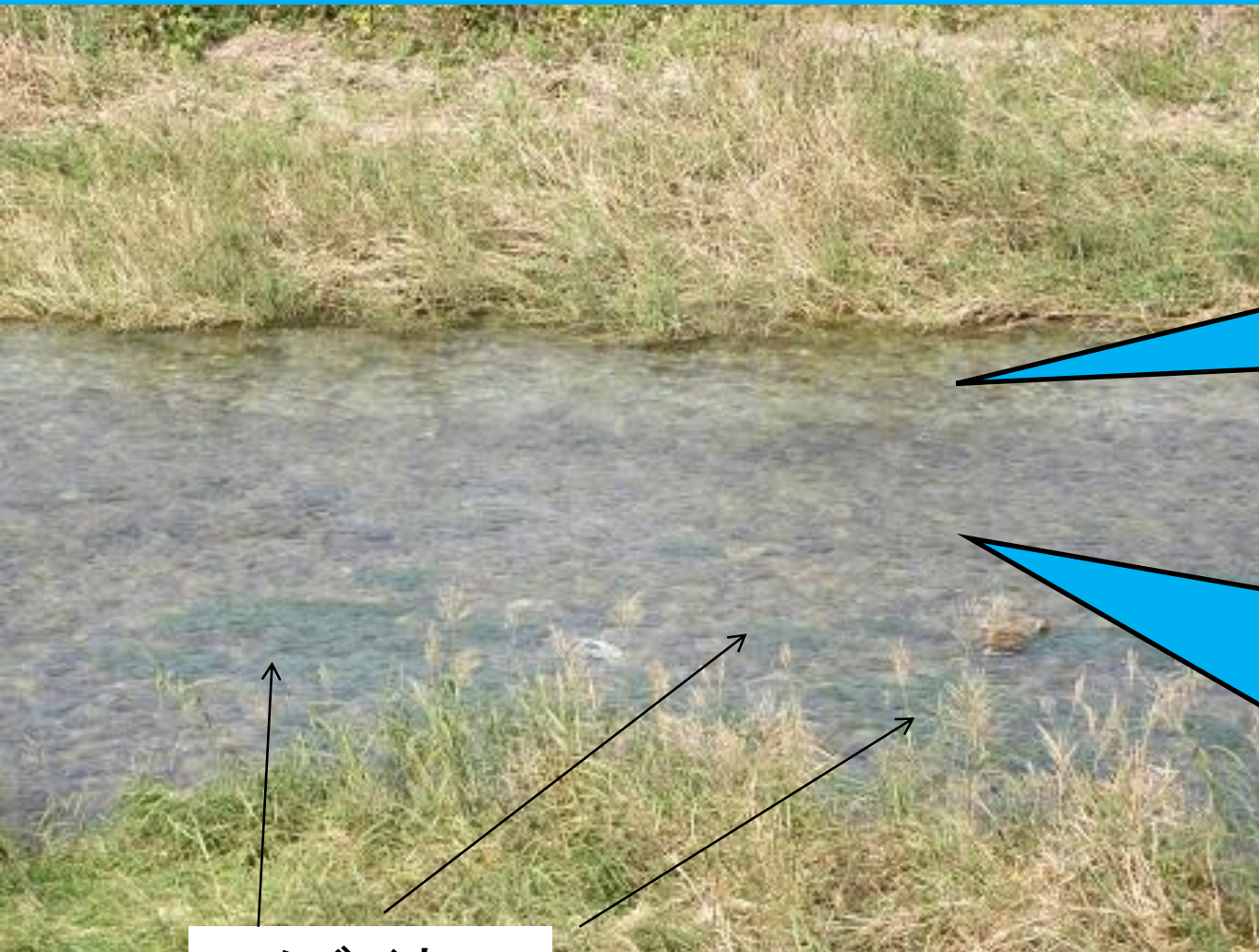
「秋以降になる予
定」



上流の崩落部分

一方、ホームセンター裏では

8月の洪水
後のようす



白い＝砂利が
流れてきてい
るため

黒い＝砂利
が流れてきて
ないため。よ
ってバイカモ
はなくならな
い。

ヒメバイカモ

すると、カルガモが現れ、ヒメバイカモを食べながら泳いでいった。



カルガモの他に

・マガモ2羽(つがい)

・コガモ1羽

・ヌートリア1匹

を確認。

いずれも、バイカモを食
べる可能性あり。



2. ホームセンター裏へのためし植え2カ所 (2013年10月31日)

2m間隔で10カ所(上流部)



30本くらい
をワラで束
ね一株とす
る。×10

2m間隔で20カ所(下流部)

20本×10
10本×10



結果

2014年2月1日(2ヶ月経過後)にチェックをおこなった。
上流部では10株中8株が生育中



下流部はいくつか生育しているが、ゴミがかぶさりよく見えない。春まで待つことに。



3. 今年の予定

沢田入り口の個体群を移植により横に広げる

- ・橋から見えるので、啓発に役立つ
- ・学校との協同作業としたい。
時期は梅雨明けか、9月の台風シーズン後



4. その他

- ・県津和野土木事業所から
12月下旬、工事区間に生育するヒメバイカモの移植依頼
- ・1/12 水源地へ仮移植
- ・昨年度も下流の沢田上の工事で実験地へ移植、今後も続くだろう



おわり